

# 2015年2月期 第2四半期決算説明会

2014年10月9日 あなたと、コンビニに。  
株式会社ファミリーマート **FamilyMart**

連結			
単位: 億円			
	2013年度 第2Q累計実績	2014年度 第2Q累計実績	前年同期比
営業総収入	1,750	1,843	105.3%
営業利益	254	214	84.2%
経常利益	275	222	81.1%
四半期純利益	140	204	145.4%

単体			
単位: 億円			
	2013年度 第2Q累計実績	2014年度 第2Q累計実績	前年同期比
チェーン全店売上高	8,601	9,353	108.7%
営業総収入	1,454	1,526	104.9%
販売費及び一般管理費	975	1,098	112.6%
営業利益	229	187	81.7%
経常利益	252	213	84.6%
四半期純利益	137	248	181.3%

**連結・単体共に、営業利益・経常利益は減益。  
四半期純利益は過去最高益を更新**

営業数値概況			
※店舗数は、国内AFC・TOMONYを含む。			
	2013年度 第2Q累計実績	2014年度 第2Q累計実績	前年同期差
全店平均日商(千円)	530	517	△ 13
既存店日商伸び率(%)	99.5	98.5	-
全店客数(人)	956	935	△ 21
全店客単価(円)	555	552	△ 3
差益率(%)	27.73	27.80	0.07
新設店日商(千円)	477	460	△ 17
純増数(店)	467	460	△ 7
出店数(店)	580	597	17
閉鎖数(店)	113	137	24

店舗数			
※TOMONYを含む。			
(株)ファミリーマート	2013年度 第2Q累計実績	2014年度 第2Q累計実績	前年同期差
	9,210	10,216	1,006

【国内】	プロパー		沖縄	国内計	前年 同期差
	10,216		239		
	南九州	北海道	JR九州リテール	11,007	1,059
	337	72	143		

【海外】	台湾	タイ	中国・上海	中国・広州	中国・蘇州	海外計	前年 同期差
	2,926	1,121	833	151	104		
	中国・杭州	中国・成都	中国・深圳	中国・無錫	△ 7,331		
	46	30	15	14			
	アメリカ	ベトナム	インドネシア	フィリピン		5,377	
9	57	15	56				

国内外 合計	前年 同期差
16,384	△ 6,272

# 上期レビュー

## 店舗開発

### ■三大都市圏・地方中心都市への出店

- ・ドミナント化による物流効率化を推進

### ■鉄道事業者との取組み

- ・「横浜市営地下鉄」「京成電鉄」

### ■一体型店舗「+ファミリーマート」

- ・JA全農との提携

ーコンビニエンスストアの利便性とJAならではの生鮮食品や日配品等の幅広い品揃え

- ・株式会社フジオフードシステムとの提携

ーコンビニエンスストアの中食と外食が一体化

### ■出店数：597店（純増数：460店）

### ■新設店日商：460千円



〈ファミリーマート+まいどおおきに食堂 東池袋四丁目店〉



〈ファミリーマート+ ACOOP いよ店〉

## 商品・営業

### ■ファミマプレミアムシリーズ

- ・素材、製法、見た目に拘り、ラインナップを拡大

### ■FamilyMart collection

- ・570アイテムを展開、幅広い客層に対応

### ■FFカウンターコーヒー「FAMIMA CAFÉ」

- ・新商品「カフェラッペ」を発売

- ・7・8月の平均日販は11,000円に到達

### ■新販売什器の導入

- ・過去最高となる既存店投資

ー平型アイスケース等の導入により、800機能にまで引上げ、冷凍食品やアイスクリームの品揃え拡充

### ■既存店日商伸び率：98.5%

- ・煙草影響を除く伸び率はほぼ100%

### ■差益率：27.80%（前年同期差+0.07%）

- ・中食売上の構成比が向上



〈FAMIMA CAFÉ カフェラッペ〉

## 海外CVS事業・新規事業

### ■海外CVS事業

- ・中国：収益改善、事業会社合計で黒字転換
- ・タイ：政情不安影響、販促費投入による既存店日商の底上げ
- ・インドネシア：計画通り出店が進捗

### ■新規事業

- ・ジャパンネット銀行との業務提携
- ー一体型カード発行予定、2社共同でキャンペーンを展開
- ー引き続き、相互送客の施策を検討

# 下期計画

## 店舗開発

### ■これまで通り、収益性をより重視

### ■「+ファミリーマート」の取組み

- ・ドラッグストア、調剤薬局、スーパーマーケット等との取組み拡大
- ・その他の業態との連携を検討
- ・将来のコンビニエンスストア事業の新たな店舗フォーマットを追求

### ■出店審査の厳格化・優秀な加盟者を確保

〔通期計画〕

国内出店数：1,300店

(うち国内AFC100店)

新設店日商：450千円

## 営業・商品

### ■中食商品開発

- ・ファミマプレミアムシリーズの拡充
- ・“働く女性”支援
- 健康を意識した商品、家事負担軽減商品
- ・高品質なロングライフ商品

〈ファミマプレミアム  
炭火焼イペリコ豚重〉  
※10月14日発売



### ■中食構造改革委員会

- ・高品質・効率的な商品製造の仕組みを再構築

### ■カウンター商材「FAMIMA CAFÉ」

- ・新商品「ショコラ・ラテ」を発売

〈FAMIMA CAFÉ ショコラ・ラテ〉  
※10月発売予定



### ■FamilyMart collection

- ・650アイテムに拡大
- 広がる客層に対応

### ■SQCの徹底

- ・対面接客に磨きをかけ、気持ちよくお買いものをしていただける「品質」を追求

〈配布型ファミマTカード〉



### ■新販売什器の導入完了

- ・既存店投資の効果を最大限に発揮

### ■ファミマTカード会員の拡大

- ・配布型ファミマTカード、ファミランク制の導入効果

〔通期計画〕

既存店日商伸び率：98.8%

(下期計画：100.0%)

差益率：27.83%(前期差+0.10%)

(下期計画：27.86%)



# 下期計画 / 経営数値計画

## 海外CVS事業

### ■アジアを軸に

#### 展開スピードを加速

- ・中国: 9月北京へ初出店、新地域出店も視野、通期で黒字化達成見込み
- ・台湾: 中食強化型店舗拡大で増益を計画
- ・タイ: 品揃えの見直し、売場づくりの推進、オリジナル中食の拡充、「FamilyMart collection」展開
- ・フィリピン: 出店加速、FC展開の推進

	店舗数		前期末差
	2013年度末実績	2014年度末見込み	
日本国内	10,547	11,451	904
台湾	2,897	2,951	54
韓国	7,925	-	△ 7,925
タイ	1,070	1,207	137
中国・上海	792	907	115
中国・広州	142	163	21
中国・蘇州	93	101	8
中国・杭州	34	51	17
中国・成都	26	39	13
中国・深圳	6	21	15
中国・無錫	2	19	17
中国・北京	-	4	4
アメリカ	9	10	1
ベトナム	28	83	55
インドネシア	12	35	23
フィリピン	39	127	88
海外計	13,075	5,718	△ 7,357
合計	23,622	17,169	△ 6,453

## 新規事業

### ■新規事業

- ・「金融」「医療・介護」「ネットビジネス」分野の事業確立の検討

◆配当: 年間配当金1株あたり106円(+4円)を予定  
⇒10期連続の増配予定

## 2015年2月期 経営数値計画

### 営業数値計画

※店舗数は、国内AFC・TOMONYを含む。

	2013年度実績	2014年度計画	前期差
全店平均日商(千円)	521	513	△ 8
既存店日商伸び率(%)	99.6	98.8	-
差益率(%)	27.73	27.83	0.10
新設店日商(千円)	440	450	10
純増数(店)	1,066	904	△ 162
出店数(店)	1,355	1,300	△ 55
閉鎖数(店)	289	396	107

### 連結

単位: 億円

	2013年度実績	2014年度計画	前期比
営業総収入	3,456	3,779	109.3%
営業利益	433	400	92.4%
経常利益	473	420	88.8%
当期純利益	226	255	112.8%

### 単体

単位: 億円

	2013年度実績	2014年度計画	前期比
チェーン全店売上高	17,219	18,732	108.8%
営業総収入	2,874	3,044	105.9%
営業利益	378	340	89.7%
経常利益	407	371	91.1%
当期純利益	214	284	132.7%